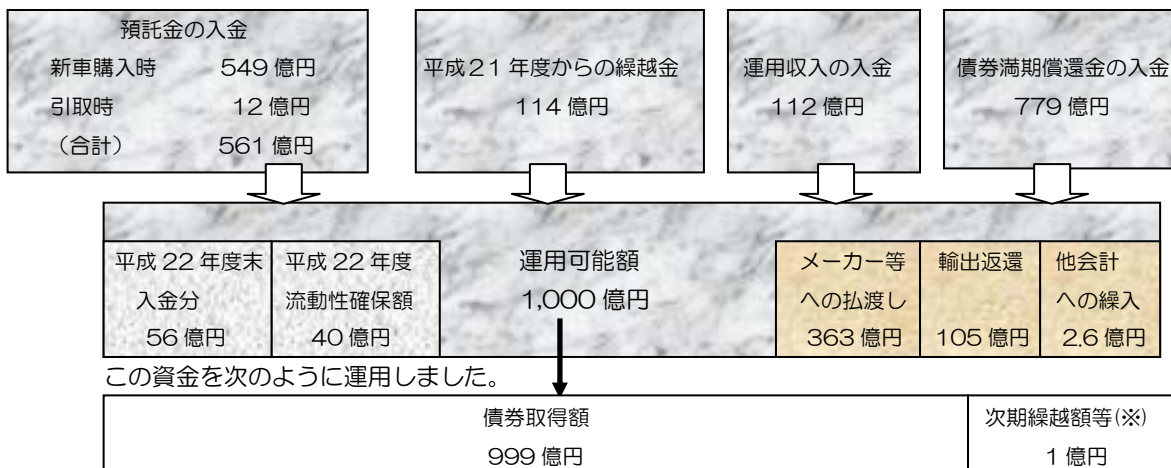


平成22年度（平成22年4月～平成23年3月） 再資源化預託金等の運用の実績

⇒詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第42回（平成23年6月14日開催）資料4-1」をご参照ください。

- 平成22年度（平成22年4月から平成23年3月末まで）に資金管理法人の口座に入金となった預託金額は561億円でした。これに平成21年度からの繰越金114億円（平成21年度末入金73億円、流動性確保額等42億円）、運用収入112億円及び債券満期償還金779億円を加え、メーカー等へ払渡した金額363億円、輸出返還の金額105億円及び他会計へ繰入れ（資金管理法並びに指定再資源化機関及び情報管理センターへの出えん等）した金額2.6億円と平成22年度末の入金分56億円及び平成22年度の流動性確保額の40億円を差引いた1,000億円が運用可能な金額でした。



(※) 次期繰越額等 1 億円。

次期繰越額等とは、債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額です。

支払経過利息とは、債券を購入するとき売り手に支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のことです。

(注) 合計が一致しないのは四捨五入のためです。

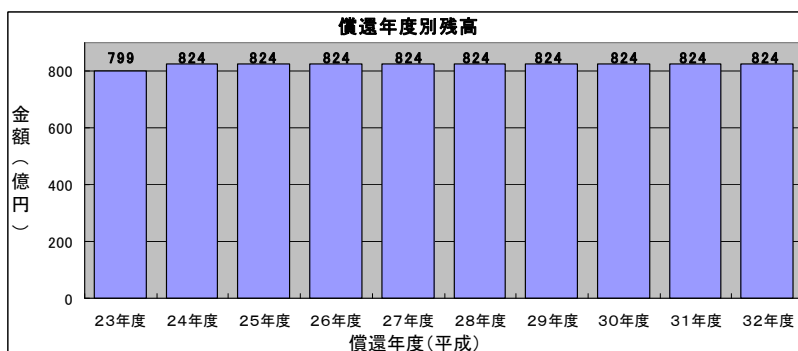
⇒平成22年度に取得した債券の運用の成果は、概ね市場の金利を踏まえたものとなりました。

実績最終利回り (A)	評価指標利回り (B)	(A) - (B)
1.04%	0.97%	0.07%

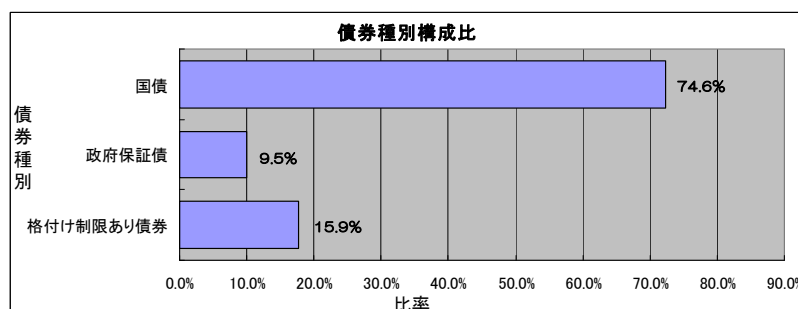
※注 実績最終利回りは、平成22年度に取得した債券の加重平均利回りです。

- 平成22年度末（平成23年3月末）の保有債券の残高・平成22年度における新規取得債券（平成22年4月から平成23年3月末まで）の種別構成比は次のようになりました。

⇒償還年度別の構成は、計画どおりにラダー型となりました。



⇒新規取得債券種別構成比は、計画どおりに市場の構成比に準じたものとなりました。



国債	745 億円
政府保証債	95 億円
格付け制限あり債券	159 億円
合計	999 億円